

## 課題：イチゴの増収・安定生産対策

### ねらい

現在徳島県の主要品種である「さちのか」は品質が良く、市場評価の高い品種であります。しかし、晩生種の上、収量性が低く、所得低下を招いている状況であります。そこで、年内出荷比率向上、単収向上技術の確立を図り、生産者の所得向上を目指します。

### 活動地域・対象

対象地域：全県  
対象：イチゴ生産者

### 普及活動の目標

年内出荷率向上のため紙ポット育苗の導入・普及を図ります。  
収量確保のため健全苗の育苗技術支援を行います。  
「さちのか」に代わる有望品種の特性把握、導入・調査を行い、経営面等の検討を行います。  
県独自品種育種サポート体制に向け普及支援します。

### 目標に向けた活動概要

#### ・展示圃等の設置

農産園芸研究課と農業支援センターと連携し、板野郡、阿波市で2カ所に、紙ポット育苗の有効性の検証と普及を図るため展示圃を設置しました。



紙ポット育苗(展示区)

黒ポリポット(対照区)

株元灌水

・健全苗育成のため、各自既存栽培技術の見直しについて、講習会を開催しました。また炭疽病簡易検定の実施、花芽顕鏡支援等苗供給の安定化や適期定植の支援を行いました。

・「こいのか」、「おい♡ベリー」等有望品種について、九州・沖縄農業技術センターと連携し、品種別栽培技術について各農業支援センターに情報提供しました。

・県独自品種については、3農業支援センターで展示圃を設置し、農産園芸研究課、3地域支援センターと連携し、品種の普及性等を検証しています。

これらについては、3月11日に現地検討会(紙育苗展示圃)、研究成果発表会で生産者へ情報提供し、更に普及を図る予定です。

## 普及活動の成果

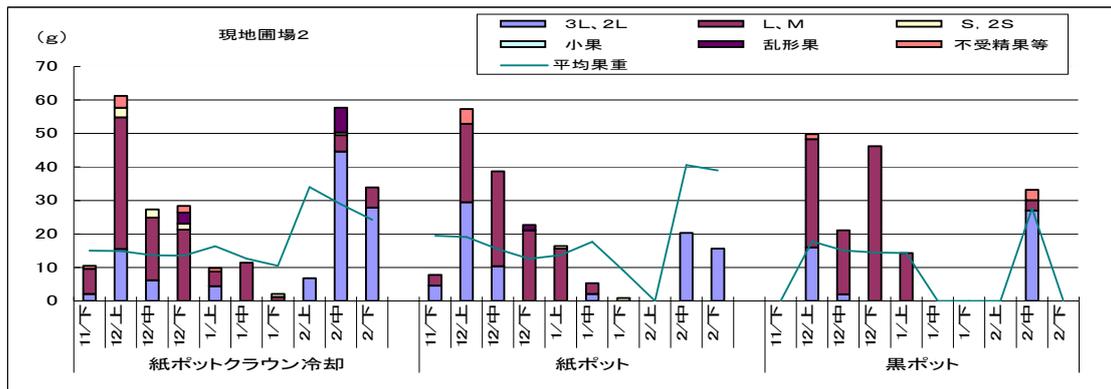
### 1 展示圃の状況及び成績



現地圃場 1 紙ポット区  
(平成25年11月25日)



現地圃場 1 黒ポリポット区  
(平成25年11月25日)



ポット育苗は、ポットを取り外さずそのまま定植できることから 省力的であり、花芽分化の促進と初期収量の向上が実証されました。

2 県独自品種について、農産園芸研究課よりを3月11日の研究成果報告会で生産者に報告します。また3支援センター管内で、現地展示圃を設置して特性調査等を行っています。

研究の育種の状況については、優良28系統は炭そ病菌接種試験で選抜しており、炭そ病抵抗性を有しています。また、優良系統は、10月下旬から11月上旬に収穫が始まっており、「さちのか」に比べ3週間から1ヵ月程度の収穫期の前進が図れています。

今後、優良系統の収量性、品質、食味を調査し、28系統から数系統に絞り込みを行う計画です。

## 今後の発展方向

技術の普及、品種の検討等により生産者の収益が高める支援を行っていきます。

## 関係者からの声

生産者より、経営改善のため、収益向上を図る技術対策や品種などを求められています。

## 高度技術支援課

連絡先：徳島県名西郡石井町石井字石井1660 tel : 088-674-1922